

## 船木校区まちづくり校区懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成30年7月4日（水） 19時から20時30分

開催場所 船木公民館 2階 会議室

司会・進行 石川連合自治会副会長

参加者数 男69人 女13人 合計82人



1 挨拶・趣旨説明等（挨拶：星加連合自治会長・司会：石川連合自治会副会長）

2 市長挨拶・市の重点事業について

3 重点事業に対する質疑

○質問（長野自治会）

国道11号バイパスの件だが、今まで長い間出来ず、とお話がありましたが、いまだ国への陳情段階だということ。具体的にどの位の時期に完成予定なのか。

○回答（石川市長）

昭和63年からこの11号バイパス事業は計画されていて、そこからだと30数年かかっている。いつ頃になるかはわからないが、船木地区の1工区は、今地籍調査を入れて測量ができるように市で準備を行っている。大生院と萩生の工区での事業が済んだら次に着手するよう、強く要望したい。ただ、まだだいぶ、4～5年はかかると思う。

○質問（長野自治会）

そういうことであれば、新居浜市への西の入口はできていますね。では、東の入口、船木の谷前地区あたりの11号沿線の整備、こちらも常に気にかけてやって欲しいと思うの

だかどうか。

○回答（市長）

船木角野線や郷桧の端線など次々に開通、整備されていくと、このあたり（パワーポイントの「主要幹線道路整備図」新居浜 IC 入口交差点付近を指す）が混む。今でもすでに混雑しているので、これをどうしたものか。これに郷桧の端線が開通すると、今以上に混雑するので、このあたりを出来るだけ早くやってくれと、国、県に働きかけは行ってまいります。

○補足（星加連合自治会長）

この件は市でも心配していて、私も市から行ってくれという事で、高松の国交省や県にお願いに行っている。行政から言うよりも市民が直接言った方が良いという事で、私もお願いはしています。

○質問（長野自治会）

長野に市民の森があるが、先だっても広聴票で、入口がすごくわかりにくいので入りやすくしてほしいと書いたのだが、開園から25年経つそうである。設備投資としての資金は、年間どれくらいなのか。

○回答（市長）

維持管理費が中心で、新しい設備投資というのは今のところ考えていない。

○回答（経済部長）

一部看板の設置などについては、出来るどころから進めている。また、奥のトリムについては、古いものは取り除いて新しいもの、予算の範囲内ではあるが、順次整備を進めていかなければならないし、遊歩道についても手を入れていきたいと思っている。

#### 4 共通課題（防災）について

(1) 市側の説明 原防災安全課長から説明

(2) 船木校区の説明 星加連合自治会長から説明

また、新居浜市への質問事項として2点

- ・ 防災情報を知るには、電話、携帯電話のほかにもどのようなメディアがあるか
- ・ 被災直前又は被災時に行政との連絡手段には何かあるか

○司会（石川連合自治会副会長）

まずは連合自治会の方から2点ほど質問という事ですが、もし良ければ市の方から考え方とか回答がありましたらお願いします。

○回答（市民部長）

一つ目の防災情報を得る手段としては、テレビによる情報収集が熊本地震のアンケートでは一番多かったとの事である。新居浜市においては、市ホームページや新居浜いんふお、TwitterなどのSNSなどによる情報発信を考えている。また、本年度からHello!NewFMが開局したことに伴い、防災ラジオを始めている。このラジオについては、現在申し込みを受け付け中で、チラシにあるとおり9月30日までは特別価格で購入あっせんを行っている。通常はFMラジオとして地域情報などを提供しているが、災害発生時には電源を切っても自動でスイッチが入り、大音量で防災情報を提供するようになっている。ほかの番組を視聴していても自動で災害情報に切り替わるため、是非利用して欲しい。

次に、行政との連絡手段についてであるが、電話が繋がりにくい時には、緊急時には公民館に通話装置を設置しているので、それを利用していただければと思う。また、被災時には公衆電話が比較的繋がりがやすいといわれているので、そちらも利用して欲しい。

○司会（石川連合自治会副会長）

ありがとうございます。

防災情報を得る手段として、市の方からは防災ラジオを活用して欲しいという事でした。9000円ほどするらしいのですが、補助があるので3000円で購入できるらしいです。

○質問（長野自治会）

この防災ラジオを自治会員に紹介したい場合はどうすればよいか。

○回答（星加連合自治会長）

市政だよりにチラシが入っているので、そちらを見て是非申し込んでいただければと思う。

○司会（石川連合自治会副会長）

行政との連絡手段ですが、公民館に通話装置を設置しているので、それが利用できるほか、公衆電話も比較的繋がりがやすいという事です。調べると、船木地区に4つしかないそうですね。一つは長野のところ、一つは池田のバス停のところ、そして農協のところ、あと一つはうちの元船木団地のところにもあるんです。あまり利用しないので撤去してもらおうかと思っていたが、それを聞いてやっぱり置いておいてもらおうと思っています。

また、防災に関して、せっかくの機会なので何か質問があれば発言していただければと思います。

### (3) 共通課題（防災）への質疑

#### ○質問（長野自治会）

先日の大阪での地震について。朝の登校時に地震が発生して女の子と見守り隊の方が亡くなったが、地震を受け、全国的に各場所で安全対策のチェックを各自治体が行っているが、新居浜市ではやっているのか。

また、古い水道管が破裂したことで断水時間が長かったという事もあったようだが、新居浜市の水道管の状態はどうか。

#### ○回答（教育委員会事務局長）

大阪地震でのブロック倒壊事故を受けて、学校施設の状況を把握したリストをとりまとめているところです。今から優先順位をつけて、危険度の高いところからブロック塀の撤去やフェンスへの変更などを行っていく予定である。

また、通学路の点検についても、すでに学校の方にはお願いしているが、これは父兄の方々にも協力をお願いしているところであるが、避難訓練にあわせてであるとか、見守り隊の協力を得たりとか、子どもさんと親御さんと一緒に歩いてみたりとかして、おかしいところを確認してもらい、危ないところなどがあれば、学校教育課に連絡して欲しい。

#### ○回答（水道局長）

新居浜市の水道であるが、水源地があって、そこから水を配水地に溜め、それを各家庭に送っている。この中の配水地の耐震化率は今時点で54%であり、現在設計を行っており、あと1~2年度で、70%は耐震化がカバーできる見込みになっている。

配水管については、随時耐震用のものに交換中である。今は全体のおよそ30%弱。これから随時、震度7の揺れが来ても外れない、壊れないものに取替中である。

#### ○質問（上原自治会）

家族との連絡の事だが、自分の娘は2人いるが1人は熊本地震に遭遇し、もう1人もこのまえ大阪北部地震に遭った。家族との連絡は、電話はやはりムリ、メールもダメだった。一番早く連絡がついたのはLINEだった。娘からは仕事の都合でスタンプしか押せなかったらしいが、それを見て安心した。

大阪北部地震ではブロック塀が倒れ、亡くなった方がいた。自分自身が元教員であることから言うのだが、喉元過ぎれば熱さを忘れるではないが、遊具が倒れて子どもがケガをした、というのは大阪では不幸中の幸いというか、なかったようだが、学校での安全点検は教員が回って、目視で月一回やっているが正直わからない。本当に安全かどうかは、やはり専門の業者に回ってもらわないと、現場の先生では自身を持って絶対に安全か、危ないか、という事は言えない。そもそも安全か危険かの判断の根拠は何なのか。先ほどのリ

ストだが、教員が見て危ないと報告した一覧では、そういった判断もわからないため、そこはきちんとやって欲しいと思うのだがどうか。

○回答（教育委員会事務局長）

この調査は、一級建築士の資格を持つ市の職員と回って点検したものなので、その点については大丈夫ではないかと思えます。ただ、日々みていただくという事も大切なので、皆さんのお力も必要なことなので、これからも是非協力をお願いしたい。

5 校区課題について

(1) 自治会加入率の減少について

説明者 星加連合自治会長

- ・自治体加入世帯/加入率（船木校区）の推移
- ・自治会加入率減少の要因
- ・自治会加入率減少対策
- ・老後までのパターン

○星加連合自治会長

私からの説明は以上だが、市の方で何かこの件に関して思うところがあれば。

○回答（市民部長）

人口減少や生活の多様化によってコミュニティを取り巻く環境は厳しいものになっている。このため、自治会加入率の改善は難しいものになっている。しかしながら、防犯や美化、コミュニティや隣近所との繋がり、地域要望、交付金を活用した地域活動など多くの活躍を担っている。一方で、最近では地域行事や事務処理の増大による自治会役員の負担や、後継者不足が減少の一因となっているとも言われている。地域コミュニティのこれからの在り方、再認識、持続可能な在り方などさまざまな取組をお願いしたい。市としても、事業の成果や効果を踏まえた上での見直しを行いつつ、職員の地域へのサポート体制などについて取り組むほか、5年後、10年後を見据えた長期的な視点にたった事業展開について庁内プロジェクトで議論を続けている。

6 その他質疑

○司会（石川連合自治会副会長）

最後になりますが、何か質問があれば発言してください。ただ、お願いがありまして、単一自治会の問題はなるべく避けてください。校区全体での課題への質疑ということでお願いします。

○質問（船木地区民生児童委員）

昨年、大洗高校のマーチングバンドの演奏会を開催させてもらい、盛況に終わったことを感謝している。ありがとうございました。

他の方からも大阪北部地震の話があったが、新聞の引用をさせていただいて申し上げるのだが、塀の撤去補助、民間施設の塀の撤去・改善費の一部補助は全国で少なくとも26都道府県の166市町村で実施、と意識が高まっているようです。これから国や県、市でも対策が講じられているが、四国では高知県で29市町村がブロック塀、石垣、放置看板についても補助をしているとのこと。大雨や台風、地震など何が起こるかわからないので、これはお願いだが、住宅の耐震化率を2020年に95%に引き上げる目標を国が掲げて設定しているが、これからは今まで想定していなかったブロック塀などへの対策も必要と思う。市でも追加の補助制度を設けてもらいたい。

あともう一つ。土砂災害警戒区域として、長野自治会の谷前地区の集落について、防災安全課に航空写真を撮ってもらっている。ぜひこれからも見守りを強化して欲しい。

○回答（市長）

ブロック塀については地震後、大きな問題となっているが、正直、解体や補強に補助金が出ているという話は初めて知った。勉強不足で申し訳ない。今、基本的には個人の所有物は個人で対応するというのが原則だが、どうしても公共に危険が及ぶ、といったものがあるれば、それは考慮してでも対応していかなければならないと考えている。

今現在、市の方で一番重点的に行っているのが空き家対策。これも台風とか災害時にはかなり危険なものになるので、その中にブロック塀も含めることも考えられるかな、と今聞きながら思ったところである。よその事例なども研究しながら今後どう対応していくか、まずは今説明のあった学校の塀、公共施設の塀、新居浜市の持ち物の方の安全対策を、まずは行っていきたい。その中で個人の所有のブロック塀などもどういった対応ができるのか、を今後検討していきたい。

○質問（楽スポ船木）

学校開放で施設を利用している。大変ありがたく思っている。高齢者スポーツで月に6回位小学校の体育館を使っているが、外のトイレが暗くて、なおかつ入口に段差がありつまずいてしまう。今最高齢が85歳の方が来ていらっしゃる。また、女性はしゃがむと足腰が悪くて不便なので、洋式トイレを付けて欲しいと2年前に要望しているが今のところなしのつぶてである。その後どうなっているのか。よその校区ではこういった取組をしておらず、船木では高齢者の活動を、という事でやっているのので何とか対応して欲しいのだが。

○回答（市長）

電気が暗いのは早急に対応してみたい。体育館のトイレの洋式化については、まずクーラーを先にやっているの、その次にはトイレ洋式化の話も出ている。ただ、体育館は避難所にもなっているため、教室の洋式化よりも先にとは考えている。出来るだけ早くとは思っているが、もうしばらく待っていただきたい。

私からのお願いだが、総合型スポーツクラブを是非市内に広めたいと思っている。現在船木さんと金子さんが取り組んでいただいているが、普段どういった活動をされているのかあまり知らないの、是非教えていただきたい。

## 7 市長まとめ（市長）

○防災については、非常に重要な課題だと思っている。連合自治会長からもお話を聞いたが、はっきり言って船木校区が市内でも一番防災活動に取り組まれていると思っている。防災訓練の実施や非常用持ち出し袋の配備、各自治会単位での防災訓練など、新居浜市の模範的な活動を実施していただいている。大事なことは、こういった意識を継続して持ち続けて活動していくことだと考えている。ぜひ今後とも続けていただきたい。

自治会加入率の低下については、全市的な問題であり、どこに行っても課題として出てくるものであるが、根本的な解決法は見つからないところであり、これも全市的に取り組んでいかなければならないと考えている。先ほど会長さんが説明された老後までのパターン、これは非常に面白くてわかり良いので、これをまた寸劇にするとかドラマ化するとか、そんな風にすることで皆さんに見てもらうことで、意識も変わってくるのかな、と思った。また一つ考えてみたいと思う。皆さんの方でも、良い案があればどしどし市役所に言って欲しい。今日はありがとうございました。